

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	昨年の4月以降、無断外出の事故やヒヤリハットが発生したため、玄関に毎日鍵をかけている。	玄関に施錠をしないケアの実践	施錠についての委員会をつくり、その中で話し合い、施設としての方針を決める。	12ヶ月
2	13	予定されていた「身体拘束の排除のための取り組み」の研修が実施できなかった。	「身体拘束排除のための取り組み」の研修を行う。	全体会議のときに「身体拘束ゼロへの手引き」を活用し内部研修を行う。	12ヶ月
3	14	他施設での研修や交換実習は行っているが、鍵をかけない工夫を実践しているホームのやり方を学ぶ機会がなかった。	他施設の「鍵をかけないケアの実践」について学ぶ。	玄関に鍵をかけない工夫を行っている他のホームとの間で、勉強会や交換実習を行う。	12ヶ月
4	23	一人一人の思いや希望、意向を把握するためのシートが使われていない。	利用者本位の視点で、よりの確に把握するためのシートや様式を活用する。	センター方式のシートを活用し、それぞれの思いや意向を把握する。	12ヶ月
5	45	一人一人の入浴習慣や希望に沿った入浴になっていない。	一人一人の希望に沿った入浴のサービスを提供する。	入浴習慣や入浴についての希望を一人一人から聞き取りをし、少しずつでも希望に近づけるようにする。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。